

コアシンポジウム 1

「炎症性腸疾患の最新治療戦略 【生物学的製剤・分子標的薬のリアルワールド】」

主司会 土屋 輝一郎（筑波大学医学医療系消化器内科）

副司会 松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科）

昨今の炎症性腸疾患治療において新しい生物学的製剤・分子標的薬が登場している。治療選択肢が広がる利点の一方で、好適症例の選定、効果判定、治療ストラテジー、手術のタイミング、副作用対策などエビデンスに乏しく、治療コンセンサスの確立までには程遠い現状である。本シンポジウムでは、各施設や多施設でのリアルワールドデータを共有・議論することで多様化した IBD 治療への理解を深めることを目的とする。また、エビデンス創出につながる基礎的知見も募集し、より進化した医療を目指す機会としたい。